

都幾川・越辺川流域のカワムツとヌマムツの記録について

齊藤裕也（ヤリタナゴ調査会）

都幾川・越辺川流域には国内外来種である「カワムツ」が少なからず生息することが報告されている。かつて本種は二つの型が存在することが知られ、中村（1969）が湖沼に生息するものをA型、河川に生息するものをB型として区分した。そしてHosoya et al.（2003）ではA型はヌマムツ、B型をカワムツと命名し別種とした。現在はカワムツとヌマムツの2種として扱われる（中坊2013）。しかし埼玉県内の報告では単に「カワムツ」と記述される事が多くA型、B型を含むかつての「カワムツ」か、中村（1969）がB型とし、Hosoya et al.（2003）が2種に分けた後のカワムツか判然としない報告が多い。

中村（1969）がA型とB型を提唱した後の埼玉県内の報告で型の区別をしている文献は少なく、渡辺（1990）が型を分けてA型を記録した後も、型分けをしていない文献がある。そして、三浦・泉（2016）が都幾川最下流にある川島町の長楽用水の個体をヌマムツと報告するまで、Hosoya et al.（2003）が報告したカワムツとヌマムツを別の種として扱う報告はなかった。1978年から2008年までの「カワムツ」と記述された都幾川・越辺川流域を扱う文献の記述概要を表1に示す。

初めて県内で「カワムツ」を記録したのは福島（1978）であり、鳩山村（当時）の鳩川（越辺川支流）で1973年7月25日に確認している。この記録に型分けの記述はない。環境庁（1982）にも同一日、同一地点の記録が記述されている。渡辺（1990）はA型が越辺川中流部で確実に生息数を増やしていると記述している。その後、金沢（1991）、福島（1991）、金沢ほか（1997）の報告では型を分けて記述していない。渡辺（2000）では越辺川でA型が広く定着しており、B型は採取されていないと記述していることが特筆される。その後、金沢（2000）では小川町内の兜川等でA型と記述、嵐山町（2003）では嵐山町内で型分けせずに記述しているが、掲載された写真はA型と判断される。さらに福島（2008）では越生町内の越辺川本支流で採取した個体を型分けせずに記述している。

これらから、2008年までの都幾川・越辺川流域の「カワムツ」の記録には型分けしていない記録とA型と記述した記録がある。1978年の初記録から2008年までにB型と記述した記録はなく、渡辺（2000）は、これまで越辺川でB型は採取されていないと記述している。このことから型分けされた記録は全てA型であり、現在はヌマムツと称する

表1 都幾川・越辺川流域の「カワムツ」の記録概要

文献名	状況	型の区別	その他
福島義一(1978)	1973年7月25日 鳩山村鳩川で現認	型分けせず	福島義一氏が記入
環境庁(1982)	1973年7月25日 鳩山村鳩川で現認	型分けせず	
渡辺昌和(1990)	越辺川中流域で増えている魚としてカワムツA型と記述	A型	
金沢光(1991)	都幾川、越辺川、飯盛川 他4河川で記録 ※	型分けせず	
福島義一(1991)	越辺川の毛呂山町西戸と鳩山町石坂で記録	型分けせず	
金沢光ほか(1997)	都幾川、越辺川、槻川、毛呂川 他20河川で記録 ※	型分けせず	
渡辺昌和(2000)	越辺川の本支流のほとんどにA型が定着と記述 (越辺川ではB型は採取されていないと記述)	A型	
金沢光(2000)	小川町内の兜川、木呂子川、木部川、角山川で記録	A型	
嵐山町(2003)	嵐山町内の河川で記録(写真はカワムツA型)	型分けせず	
福島義一(2008)	越生町内の越辺川の本支流	型分けせず	

※都幾川・越辺川以外の流域の確認

ものであると推定される。また、型分けされていない「カワムツ」の記録の場所は、今後生息地に赴いて実地に調査して Hosoya et al. (2003) によるカワムツかヌマムツか確認する必要がある。

「カワムツ」が A 型、B 型と型分けされ、各々が別種とされていく過程で、埼玉県内の報告がそれに対応していない事を、都幾川・越辺川流域の「カワムツ」の記録を例に示した。

今後、都幾川・越辺川流域のカワムツとヌマムツ両種の分布について、別途調査を行って報告したいと考えている。

引用文献

- 中村守純 (1969) 日本のコイ科魚類 カワムツ. 資源科学研究所. pp. 232-238.
- 福島義一 (1978) 埼玉県動物誌 埼玉県の魚類・円口類. 埼玉県教育委員会. pp. 107-135.
- 環境庁編 (1982) 第 2 回 自然環境保全基礎調査 (緑の国勢調査) 動物分布調査 (淡水魚類) 報告書 日本の重要な淡水魚類. 南関東版 埼玉県. pp. 1-29.
- 渡辺昌和 (1990) 荒川水系越辺川の淡水魚. 日本の生物 1990. 7 : 6-11.
- 金沢 光 (1991) 埼玉県に生息する魚類の総合的知見. 埼玉県水産試験場研究報告 50 : 92-138.
- 福島義一 (1991) 越辺川本流の魚類 越辺川. 鳩山町中央公民館 pp. 71-110.
- 金沢 光, 田中繁雄, 山口光太郎 (1997) 埼玉県の生息魚類の分布について. 埼玉県水産試験場研究報告 55 : 62-106.
- 渡辺昌和 (2000) 魚の目から見た越辺川 (埼玉・東京を流れる荒川の支流). pp. 160. まつやま書房 東松山市.
- 金沢 光 (2000) サカナの仲間 小川町の自然 動物編. pp. 48-53.
- Hosoya, K., H. Ashiwa, M. Watanabe, K. Mizuguchi, T. Okazaki, (2003) *Zacco sieboldii* a species distinct from *Zacco temminckii* (Cyprinidae) Ichthyological Research 50 : 1-8.
- 嵐山町 (2003) 川の中の動物 嵐山町博物誌編さん委員会 pp. 112-121.

福島義一 (2008) 越生町の魚類・円口類 越生町史自然編 越生の自然. pp. 250-260.

中坊徹次 編 (2013) 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会 コイ目コイ科 pp. 308-327.

三浦一輝, 泉 北斗 (2016) 埼玉県都幾川より取水される農業水路を利用する淡水魚類. 埼玉県立自然の博物館研究報告 10 : 31-36.